

医学研究科

【修士論文審査基準】

修士論文又は課題研究の審査及び最終試験にあたっては、学位規程第 9 条に定めるもののほか、次の各号の区分に応じ、当該各号に掲げる項目について総合的に評価することにより、公正な審査を行う。

(1) 修士論文

- ア 看護学の発展に貢献する研究であること。
- イ 課題と目的（意義）が明確に示され、かつ、理論に新奇性、独創性、有用性があること。
- ウ 適切な文献、資料等により、課題及びその背景の分析が十分に行われていること。
- エ 研究の目的を達成するために適切な研究方法が選択されていること。
- オ 論旨が明確であり、一貫性、論理性があること。
- カ 論文の形式に従って作成され、文章表現が適切であること。
- キ 口述発表において研究の内容を十分に伝えることができ、かつ、質疑応答が的確であること。
- ク 福岡大学研究倫理規程その他の研究公正・研究倫理に関する学内規則のほか、当該研究分野に関連する学協会・団体の研究倫理基準等を遵守していること。

(2) 課題研究

- ア 科学的根拠に基づいて行う高度看護実践に貢献する研究であること。
- イ 問題意識が明確で、課題が適切に設定されていること。
- ウ 適切な文献、資料等により、課題及びその背景の分析が十分に行われていること。
- エ 課題を達成するために適切な研究方法が選択されていること。
- オ 論旨が明確であり、一貫性、論理性があること。
- カ 論文の形式に従って作成され、文章表現が適切であること。
- キ 口述発表において研究の内容を十分に伝えることができ、かつ、質疑応答が的確であること。
- ク 福岡大学研究倫理規程その他の研究公正・研究倫理に関する学内規則のほか、当該研究分野に関連する学協会・団体の研究倫理基準等を遵守していること。

【博士論文審査基準】

博士論文は、次の各号に掲げる事項に留意しつつ、公正な審査を行う。

- (1) 研究内容に学術的、社会的意義があり、重要性があること。
- (2) 独創的発想に基づき研究目的が設定されていること。
- (3) 先行研究を十分に検討した上で研究が計画されていること。
- (4) 研究の方法が正確であり、かつ、妥当であること。
- (5) 研究の結果について、一貫性を持って論理的に正しく評価し、結論を導いていること。
- (6) 論理的でわかりやすく記述されており、かつ、適切に文献が引用されていること。
- (7) 生命の尊厳を尊重し、研究倫理を遵守していること。
- (8) 今後の学問的方向性について明確な展望を示唆していること。